

10/22 朝日

山際氏、19年にも面会

教団総裁と写真出回り認める

山際大志郎経済再生相は21日の閣議後会見で、2019年と世界平和統一家庭連合（旧統一教会）のアップ、韓鶴子総裁と会つたと認めた。山際氏は今月3日、18年に教団主催の会合で韓氏と会つていたことを認め、17日の衆院予算委員会では「18年の会合ひで山際とよゐるが、写真は未口中である」とを語めた。山際氏も接觸した記憶を問われると「わざわざおびつかない」と、集合写真に自身が写つていねことは

「覚えておらず、事務所に反省している」とした。撮影当日に教団の関連団体が開いたとみられる会合と出席した」とは否定した。

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）の韓鶴子総裁の隣に立つ山際大志郎経済再生相。教団の活動を紹介するユーチューブサイトで配信された動画に写真として表示された

表の方（韓氏）をお見かけしたもの以外は記憶にならなかった」と述べていた。この会議の上でも山際氏と見られる人物が韓氏と一緒に写っている集合写真が出回ったところ。韓氏との撮影の経緒については「意見交換終了後に誘いを受けて、撮影したのではないか」と述べた。

韓氏も接觸した記憶を問われると「わざわざおびつかない」と、集合写真に自身が写つていねことは

「覚えておらず、事務所に反省している」とした。撮影当日に教団の関連団体が開いたとみられる会合と出席した」とは否定した。

教団との接点が指摘され

るたびに説明を重ねる山際氏に自民党内からも厳しい声が上がる。しかし、重要な政策の担当閣僚を更迭すれば政権への打撃は必至。岸田文雄首相は難しい判断を迫られている。

松野博一官房長官は21日の会見で「引き続き説明を尽くしていく」ことが重要」としたが、自民党内からは

「誰が見たかアウトだ

（閣僚経験者）との意見が相次ぐ。ゲチラン議員は

「もうダメだ。『記憶には

い』と言うが、数年前のこ

とをそんなに簡単に忘れる

かと思いつつ更迭した方

が良い。総理には厳しく決断が足りない」と首相を批判した。

とはいって、山際氏を更迭すれば岸田政権では初の閣僚辞任となり、首相の任命責任につながる。さらに山

際氏は、月内に策定する総合経済対策など重要な政策のとりまとめ役で、いま更迭すれば、政策への悪影響は

大きい。政府関係者は「辞められないは臨時国会前だつた。いまはもつ避かねり」と語る。

週明けには衆参予算案の集中審議が控える。山際氏が野党の追及を受けるのは避けられず、今後の対応について、首相周辺は「任命権

者（の首相）に与えてもいい」と語った。